

地域防災のやりがいを実感。

住民から声を掛けられ、

地元の神社の祭事に参加。



## 01

塩竈市塩竈消防団 基本団員  
A・Sさん(19歳) 短大生

## INTERVIEW

塩竈市塩竈消防団の基本団員として活動しています。入団のきっかけは、学校の友人から「地元の消防団に入っている」と聞いたことです。私自身「将来は消防士になりたい」と考えていたため、以前から興味を持っていました。しかしタイミングが合わずに未入団のままでした。

そんな中、友人から消防団の雰囲気や訓練内容の話を聞き、魅力を感じて入団を決意しました。いまは毎日が充実していると実感しています。将来にも直結するため、もっと早く入団すればよかったと感じました。

入団前は学校とアルバイト以外にコミュニティを持っていない状態でしたので、関わる人々も限られていましたが、消防団では年齢や性別を越えた出会いがありました。新たなコミュニティを持てたことが、多様な価値観や考え方を知るきっかけになっています。

活動する中では地元の大きな神社に関わる事が多く、季節ごとに行われる祭事の警戒活動などに取り組んでいます。特に神輿巡業の際は救護本部として参列者の方に行き、安全に巡行できるよう警戒に当たっています。活動中には見ず知らずの方から「消防団の方ですか?」とお声掛けいただくこともあり、地元の方との心の触れ合いを通じて、地元の安全を守るという活動に対して「やっていてよかったな」と感じます。

入団前にポンプ操法を見学した際には、先輩方がテキパキと行動する姿に心を打たれました。先輩方の動きからは、緊張感とともに責任感が伝わってきて、その姿にかっこよさと強い団結力を感じました。

### PICK UP

目標は消防士として働くこと。  
救急救命士資格取得のため勉強中。

現在は学校で救急救命士資格を取るための勉強に励んでいるところです。将来はその資格も生かせる消防士になりたいと考えています。仕事を通じて社会貢献したいので、消防団では消火技術など現場活動で生かせる知識や技術を身に付けたいです。





仙台市青葉消防団に基本団員として所属しています。入団したきっかけは、進学で都内から仙台市へ引っ越した大学1年生の時に大学内に掲示された募集の告知でした。それを見て団員の皆さんが地域を守っている姿に感銘を受けて一緒に告知を見つけた同級生と共に入団の申し込みをしました。

入団後は訓練、防火啓発、地域行事の警戒活動などに取り組んでいます。定期的に行われる訓練は、火災や水害などに備えた実践的な内容となっています。災害発生時にも迅速かつ確実に対応できるよう小型ポンプの操作や土のうの作り方などを学び、訓練を重ねています。また春と秋の火災予防運動期間中には地域を巡回するなど、地域住民の防災意識を高める活動も行っています。

活動する中で「地域の安全に直接貢献できている」と感じたときには、やりがいを感じます。緊急の呼び出しなどもありますが、先輩団員の方々に支えていただけての大きな負担を感じることもありません。そういった中で心掛けているのは、幅広い方々が協力されたうえで成り立っている貴重な出会いや経験を大切に、感謝を忘れないということです。お世話になっている所属分団だけでなく、他の分団や消防職員の方にもご協力いただくことで有意義な訓練に取り組んでいると感じます。

PICK UP

## 伝統行事の階子乗りに挑戦。 演技の足場を固める支え手に。

伝統行事である階子乗りに取り組んでいます。支え手として階子をしっかり固定することが私の役割。乗り手が思い切り演技できるよう、足場の安定感を心掛けてきました。分団長のお声掛けで参加しましたが、貴重な体験だと実感しています。



同級生とともに入団を決意。

地域を守る姿に感動し、

大学進学で知った消防団。

# 02 INTERVIEW

仙台市青葉消防団 基本団員  
S・Sさん(24歳) 大学生



誇りを持って活動に尽力。

地元を守る一員となり、

父の姿に憧れて入団。



# 03 INTERVIEW

塩竈市塩竈消防団 基本団員  
K・Dさん(33歳) 会社員

塩竈市塩竈消防団の基本団員として活動し、2023年から機関員を担当しています。入団の決め手は、やはり東日本大震災です。当時は学生でしたが、父親が消防団の一員として地元のために寝ずに活動している姿を見て、憧れを抱きました。もともと消防の仕事に興味を持っていたことから「少しでも地元の手助けになれば」と考えて入団を希望しました。

機関員としては市内巡回広報でのポンプ車運転のほか、車に搭載されている放水器具、発電機、可搬ポンプの点検などを担当しています。訓練ではポンプ操作や規律訓練を行い、出初式では機関員として機関操作も行っています。年4~5回ほど、火災現場にも出動しています。

活動時には放水時の圧力を調整するなど、自分の機関操作が団活動の要になっていると感じます。それだけに、機関操作には誇りを持って取り組んでいます。逆に自分の機関操作が活動の良し悪しを左右しかねない点が大変です。そのため、日ごろから点検や機関運用について勉強を欠かさないようにしています。

団員には普段仕事をしている方が多く、活動時も時間を割いて集まっています。しかし有事の際には、地元のために集まって精いっぱい活動しています。私もそんな消防団の一員になれたことを誇りに感じています。

何かあれば出動するという立場のため、職場や家族に対して迷惑や心配を掛けることもありますが、色々と応援いただいているので引き続き活動に努めていきたいです。

## PICK UP

勤務先は消防団活動に協力的。  
業務中に現場出動することも。

防災設備を扱う当社では、Kさんから従業員の消防団活動にも協力しています。私も含め地元企業の設備点検などを行う中、有事には消防団員として現場へ出動します。業務スキルが地域防災にも役立っていると感じます。

(東陽防災設備株式会社・代表取締役社長)

※写真右

